

SUN-Sano(児童発達支援) 支援プログラム

作成日：2024年12月1日

【事業所理念】

障害を持つ子どもがひとりの人として尊重され、家族と共に心豊かな暮らしを続けられるよう、エビデンスのある支援を提供いたします。また、そうした支援がおこなえるように人材育成に尽力してまいります。

【支援方針】

- ①自閉スペクトラム症(以下 ASD)に特化した支援を提供いたします。
- ②TEACCH®プログラムや ESDM、CARE など、ASD のお子さんに効果が認められている支援をおこないます。
- ③お子さんの発達年齢や社会適応行動、ASD の特性等について評価した上で、一人一人にあった支援内容を決定して実践してまいります。
- ④日常生活における基本動作や知識技能を習得し、集団生活に適応することができるよう必要な教育をおこないます。

【営業日時】

月曜～金曜（祝日・夏季休暇・年末年始を除く）
8：30～17：30

【送迎の有無】

当方では送迎を実施しておりません。

【支援形態】

個別支援：ESDM、PCIT、CARE プログラム、PECS レッスン
国際資格取得者による専門的支援をおこないます。

小集団支援：2人～6人程度の少人数グループで支援をおこないます。

国際資格取得者・公認心理師・社会福祉士・作業療法士・保育士・教員免許取得者等が対応いたします。

【支援内容】

本人支援

5 領域全てにおいて、アセスメントに基づいた支援目標を立て内容を決定します。

健康・生活

(目標例) 着替えができる、トイレで排尿できる、当番活動の実施

運動・感覚

(目標例) 食具の使用ができる、スキップができる

認知・行動

(目標例) イラストのマッチングができる、指示に従うことができる

言語・コミュニケーション

(目標例) 挨拶ができる、援助要求ができる

人間関係・社会性

(目標例) 他児と玩具の共有ができる、気持ちを自覚してコントロールする方法を学ぶ

家族支援

①個別面談の実施

本人に関する事柄だけでなく、ご家族の一員として本人を捉え、様々な相談に応じてまいります。ご希望に応じて個別面談を随時設定し実施してまいります。

②関係機関との連携

必要に応じて幼稚園・保育園・認定こども園等(以下園)と連携してまいります。電話や訪問園スタッフの通所支援見学などの手段を使って情報を共有し、連携してまいります。

③ふれあいペアレントプログラムの実施

年1回、1クール7回で開催中です。どなたでもご参加いただけます。

④保護者勉強会の開催

年4回、日曜日の午前中に開催しております。

⑤CAREプログラムの実施

1クール3回で必要に応じて随時実施しております。

⑥社会資源説明会の開催

年長児の保護者様を対象に実施しております。

移行支援

園および小学校、特別支援学校等に対し情報収集および提供をおこないます。具体的には

- ・園を訪問し行動観察をおこなう
- ・園の先生と面接および電話相談し、情報収集をおこなう
- ・園の実情に即したより良い支援について協議していく
- ・情報提供書の作成
- ・就学先へ訪問し情報提供をおこなう

地域支援

地域関係機関と連携してまいります。

- ・ 平行利用している児童発達支援・相談支援・その他インフォーマルサービスとの連携
- ・ サービス調整会議および特別支援教育研修会等への参加

主な行事等

春夏：お楽しみ会、ひな祭り、こどもの日、七夕、プール など

秋冬：ハロウィン、クリスマス、運動会、避難訓練、お買い物学習 など

【職員の質向上への取り組み】

①国際資格取得のための奨学金制度

TEACCH®公認臨床家、ESDM 認定セラピスト、PCIT 認定セラピスト

CARE ファシリテーター、PECS インプリメンター等の国際資格が対象です

②全職員を対象とした研修の実施

こころの発達アテンダントベーシックコース、PECS レベル1 トレーニング

CARE ワークショップ

③事業所内研修会の実施

新入職員研修、虐待防止研修、事例検討会 他

④学会等外部研修会への参加推奨

⑤外部研修会等への講師派遣